《研究課題名》

病理解剖標本を用いた多臓器不全における血球異常と骨髄造血微小環境の変化に関する研究

《研究対象者》

2000 年 1 月 1 日より 2025 年 3 月 31 日までに滋賀医科大学医学部附属病院において病理解剖を受けた方

研究協力のお願い

滋賀医科大学において上記研究課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の滋賀医科大学で既に保有している試料・情報を用いて行う研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。試料・情報の使用について、直接ご説明して同意はいただかず、このお知らせをもって説明に代えさせていただきます。対象となる方のご遺族におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

なお、本研究への試料・情報の提供を希望されない場合、あるいは、本研究に関するご質問は下記（８）の問い合わせ先へご連絡ください。

（１）研究の概要について

《研究期間》　滋賀医科大学学長許可日～西暦 2031 年 3 月 31 日

《研究責任者》　滋賀医科大学　救急集中治療医学講座　藤野和典

（２）研究の意義、目的について

《意義》

多臓器不全という多臓器の機能が低下する病態がありますが、この時には貧血や血小板の減少といっ血球減少を伴います。しかし、この現象がなぜ生じるのかはあまりわかっていません。、この研究を行うことにより、多臓器不全に伴う血球異常の病態の一端を明らかにできる可能性があると考えています。

《目的》

多臓器不全において、骨髄の造血細胞と造血を補佐する細胞を調査し、血液検査結果と比較します。

（３）研究の方法について

《研究の内容》

滋賀医科大学にて保管している病理標本、診療記録、検査データを用いて行う滋賀医科大学救急集中治療医学講座が単独で行う研究です。重い病気や、ひどい怪我の場合、体の中の多数の臓器が障害される多臓器不全と呼ばれる病態になります。一旦この病態に陥ると、血小板の低下や貧血などの血球が異常化するのですが、その原因は、骨髄の造血細胞や造血を補佐する細胞が異常化にあると考えており、調査を行います。

©Shiga University of Medical Science Research Ethics Committee.

《利用し、又は提供する情報の項目》

病理標本、診療記録、検査データ

《試料・情報の管理について責任を有する者》

国立大学法人 滋賀医科大学　学長　遠山　育夫

（４）個人情報等の取扱いについて

本研究を実施する際には、あなたの情報から、あなたを特定できる情報（氏名、生年月日、住所等）を除き、代わりに本研究用の ID を付けることで、その情報が誰のものであるか分からない状態にします。ただし、必要な場合に特定の個人を識別できるように、あなたと ID を結び付けることができるような加工をした情報を残します。尚、加工された情報は、施錠できる場所で担当者によって厳重に管理されます。

（５）研究成果の公表について

本研究の成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。公表の際には個人が特定されることがないよう、十分配慮いたします。

（６）研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方のご遺族や代理人の方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。ご希望の場合には、下記（８）の問い合わせ先へご連絡ください。

（７）利用又は提供の停止

本研究の対象となる方又はその代理人の求めに応じて、対象者の方の情報を本研究に利用（又は他の研究に提供）することについて停止することができます。停止を求められる場合には、下記（８）にご連絡ください。

（８）本研究に関する問い合わせ先

担当者：滋賀医科大学　救急集中治療医学講座　藤野和典
住所：520-2192　滋賀県大津市瀬田月輪町
電話番号： 077-548-2929
メールアドレス： hqqqicu@belle.shiga-med.ac.jp

©Shiga University of Medical Science Research Ethics Committee.